

検討対象地域について

本検討は、稠密な市街地が連担し、災害発生の際には県境を越えて甚大な被害が発生する危険性が高い名古屋市周辺部において、広域的な災害対策活動をより効果的に実施するための広域防災ネットワークのあり方等について検討するものである。

したがって、本検討において対象地域とする名古屋圏の範囲は、名古屋市を中心として、稠密な市街地が連担している地域が多く、一体として生活圏、経済圏を形成している圏域とする。具体的には、東は浜松市、北は岐阜市、西は大垣市、南は津市あたりまでが広域防災拠点等の適正配置を検討する対象地域となると考えられる（下図参照）。なお、広域交通ネットワークの検討については、外部からのアクセスなどを考慮する必要があることから、さらに広い範囲が検討対象となりうる。

